

品番 FF (H) 90032 （点滅信号AC100V・DC24V兼用型） 一般型（20分定格）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。 ※上記（ ）内は加工品番です。（以降、加工品番の記載を省略します。）

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

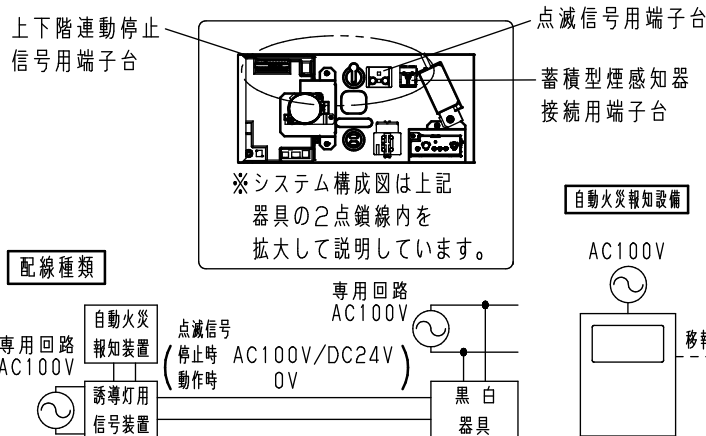
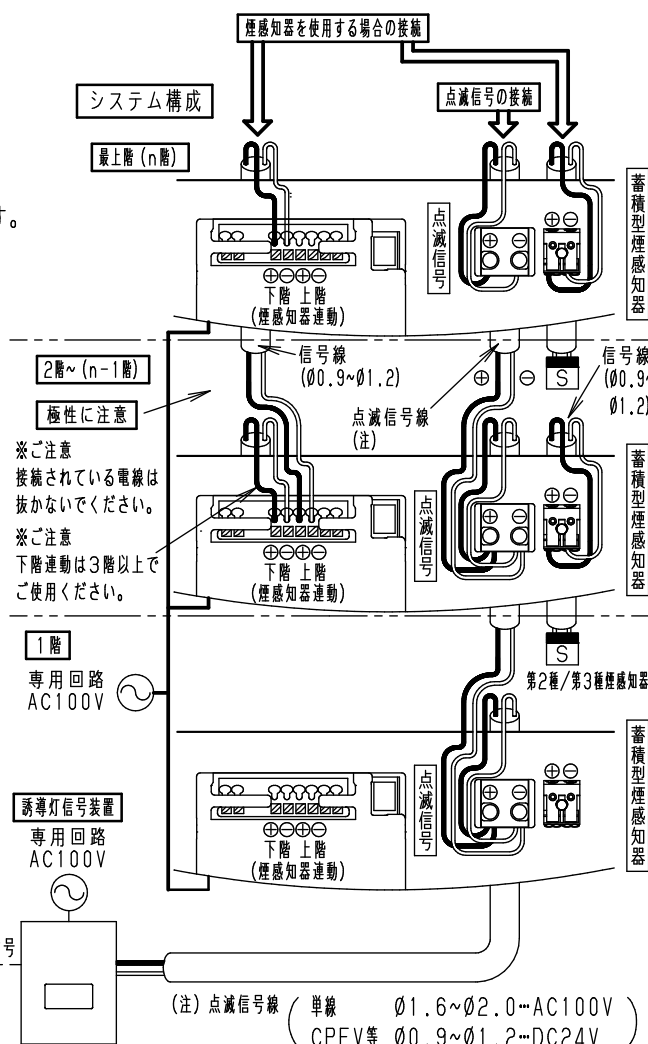
安全に関するご注意

警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。 施工に不備があると正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造しない。 火災・感電・落下の原因となります。
- 壁直付・天井直付専用です。指定以外の取付はしない。 火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。 指定外の電源電圧・周波数で使用する火災・感電の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解などしない。また、火や水に投入しない。 火災・破裂・やけど・感電の原因となります。
- 蓄電池は確実に取り付ける。 非常時に点灯しません。

注意

- この器具は一般屋内用器具です。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、温泉街など腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
電源線、信号線及び取付部からの水の滴下等の浸入がある所でも使用できません。
火災・感電・落下の原因となります。
- 外の風が直接当たる場所では使用しないでください。落下の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。
指定外の周囲温度で使用する、蓄電池の劣化及び非常点灯しない原因となります。
- 電源穴、信号線用穴及び取付穴を通じて取付面うら側から水気、湿気が入る可能性のある場合には、器具取付後、電源穴、信号線用穴及び取付穴のすきまを防水シール材等で埋めてください。
防水処理が不完全な場合、浸水による火災・感電の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。 光学性能に影響を与える場合があります。
（一部の食品や薬品・紙類またの排気ガスにも硫黄成分が含まれます。）
- 必ず当社の蓄積型煙感知器をご使用ください。
感知器ヘッド（・2種ヘッド：BV454728・3種ヘッド：BV455728）
感知器ベース（・露出型ベース：BVK4010・埋込型ベース：BVK4017）
- 必ず当社の信号装置をご使用ください。
（FF90023、FF90024K、FF90028K）



施工上のご注意

- この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
- この器具の点滅の動作は信号装置により行ってください。
- 信号装置は自動火災報知設備と連動させて使用してください。 守らないと正しい避難誘導ができません。
- 電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。 蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 24時間充電後、点滅の確認をしてください。 電池は設置後通電し、充電しないと点灯しません。

各部のなまえと取付けかた

※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。

警告

施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

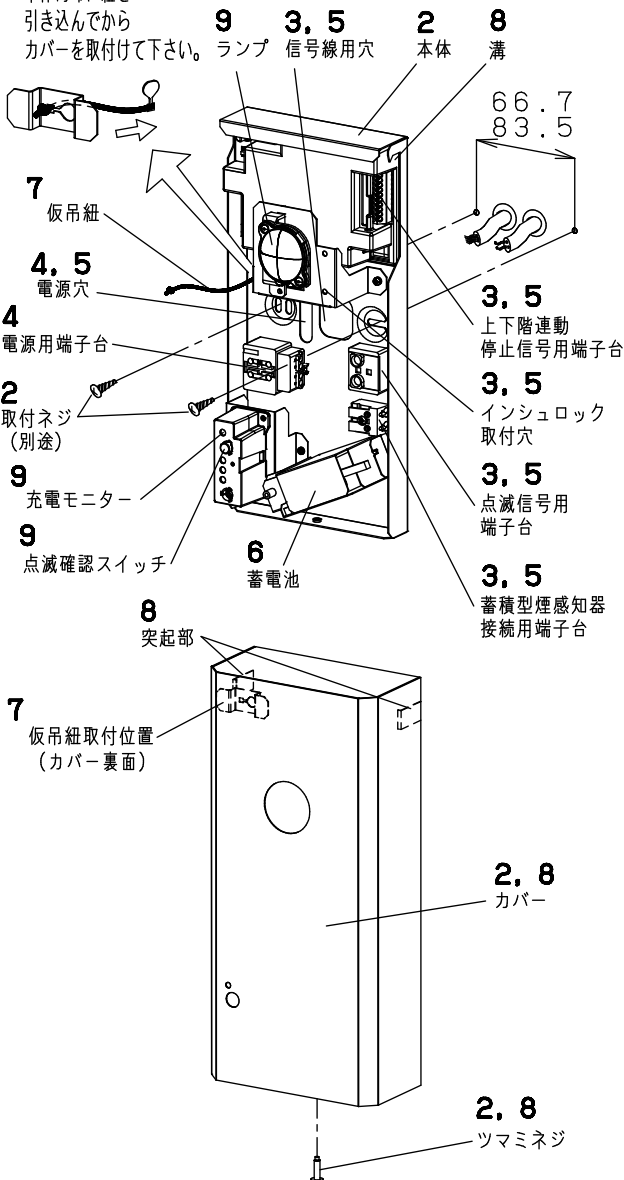
電源穴、信号線用穴及び取付穴を通じて外部から水気・湿気が入る可能性のある場合には、器具取付後、電源穴、信号線用穴及び取付穴のすきまを防水シール材等で埋めてください。

器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

※本図は壁面取付の場合で説明しています。

※この図は一部省略抽象化した共通部品図です。

(注) 仮吊紐をカバーに固定後、
本体に挟まないように
本体内部に紐を
引き込んでから
カバーを取付けて下さい。



9. 点灯確認・点滅確認

・電源通電状態で充電モニターの状態を確認する。

正常状態 充電モニター (緑) は点灯

・点滅確認スイッチを押し、点滅を確認する。

(点検中、充電モニター (緑) は消灯)

電池は設置後通電し充電しないと点滅しません。

正常に動作しない場合は「故障かな?と思ったときは」を参照してください。

1. 取付前の確認

- ・器具質量: 1.4kg に十分に耐えるよう取付部の強度を確保する。
- ・蓄電池に貼り付けている青いテープをはがしてから施工してください。

不備があると器具落下の原因となります。

2. 本体の取付

・電源線を電源穴、信号線を信号線用穴から引き込んでおく。

・取付ネジ (別途) にて本体を確実に取付ける。

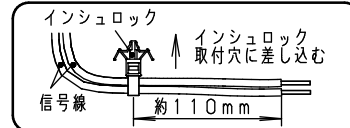
(注) 壁面に取り付けの場合、本体取付方向は、点滅確認スイッチを左下側にして取付けてください。

取付に不備があると落下の原因となります。

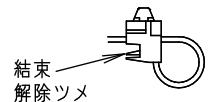
3. 信号線の接続

(注) 詳細な結線は表紙「システム構成」を参照ください。

- ・上階・下階の信号線を先端から約 110mm の位置で同梱のインシュロックにて結束しインシュロック取付穴に取り付けて、張り止めを行ってください。



(注) インシュロックは引き抜かないで下さい。
再使用する場合は結束を外して行ってください。



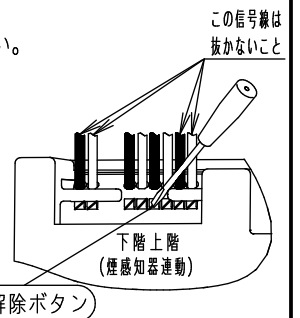
- ・点滅信号用端子台は信号線を差し込んだのちにネジを確実に締めてください。

- ・煙感知器と連動させ停止させる上階、下階の信号線接続は、適合信号線を確認の上、端子台に確実に差し込んでください。

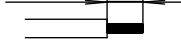
信号線を抜く場合は、必ず解除ボタンを押しながら行ってください。

(注) 上階・下階以外の信号線は抜かないでください。

接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。



- 蓄積型煙感知器、上階・下階の信号線および、点滅信号 (DC24V) の場合 適合信号線 (CPEV等) $\phi 0.9 \sim \phi 1.2$
- 点滅信号 (AC100V) の場合 適合信号線 (単線) $\phi 1.6 \sim \phi 2.0$

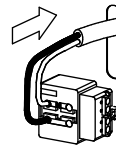


4. 電源線の接続

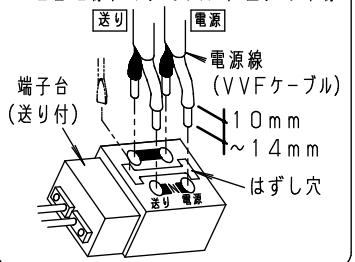
・電源線を確実に接続する。

・端子台の容量は20Aです。

接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災・感電の原因となります。



適合電線 $\phi 1.6$ 又は $\phi 2.0$ 単線



(注) 電源線・信号線接続後、余分な線は器具内部部品との当たりを防ぐため電源穴・信号線用穴へ押し込むか、線を押しつけて処理すること。

5. 電源、信号を通電させる。

(注) 通電なしで蓄電池を接続した場合、ランプが点滅します。

6. 蓄電池の接続

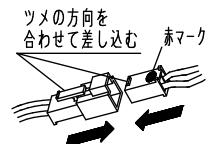
・コネクタを確実に接続する。

(注) 方向を間違えると蓄電池が故障します。

接続が不完全な場合、

火災・点滅動作不良の原因となります。

電源、信号の通電がない状態で接続した場合、ランプが点滅します。



7. 仮吊紐の取付

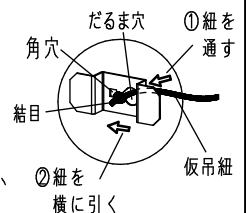
・仮吊紐を仮吊取付位置のだるま穴に通した後、

横方向に引き結目を角穴に引っ掛ける。

取付に不備があるとカバー落下の原因となります。

8. カバーの取付

・カバー内面の突起部を本体側面の溝に差し込んだ位置で、ツマミネジでカバーを本体に確実に取付ける。



・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しない。火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがした場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損の原因となります。

注意

- 内蔵部品ケースは絶対に外さないでください。感電の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。感電・やけどの原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・破裂・やけど・感電の原因となります。
- 点滅装置には、寿命があります(※1) 法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
1年に一回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
(チェックシート番号: CLX2021HA) 点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。

※1 点滅装置は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。

お手入れ・部品交換

注意

- ・器具の清掃について

蓄電池の交換時は、器具に取付けられている同じ品番のパナソニック製蓄電池にお取り替えてください。
故障の原因となります。

水または中性洗剤を用いて汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。

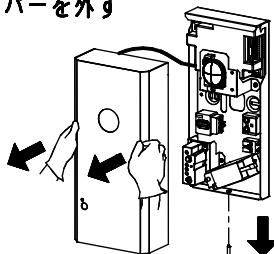
蓄電池の交換方法

24時間以上充電しても20分間非常点滅しない場合は、蓄電池を交換してください。

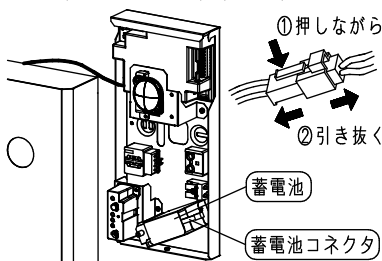
交換部品：蓄電池

FK765 (7.2V 1300mAh)

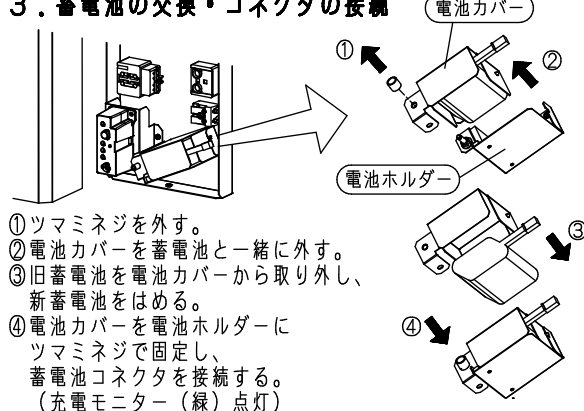
1. カバーを外す



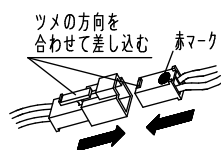
ツミネジを外し、カバーを外す。
注) 仮吊紐が外れないように注意してください。

2. 蓄電池コネクタを外す
(充電モニター(緑)消灯)

3. 蓄電池の交換・コネクタの接続



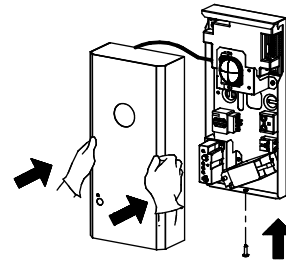
・蓄電池コネクタを確実に接続する。
方向を間違えると蓄電池が故障します。
接続が不完全な場合、火災・点滅動作不良の原因となります。



4. カバーの取付

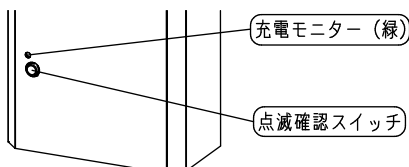
カバーを本体にはめ込み、ツミネジでカバーを確実に取付ける。

(詳しい取付方法は、(各部のなまえと取付けた)
(8. カバーの取付)を参照ください。
取付に不備があると坠落下の原因となります。



(注)
コネクタや
電線、仮吊紐を
はさまないように
取り付けて
ください。

5. 点滅確認

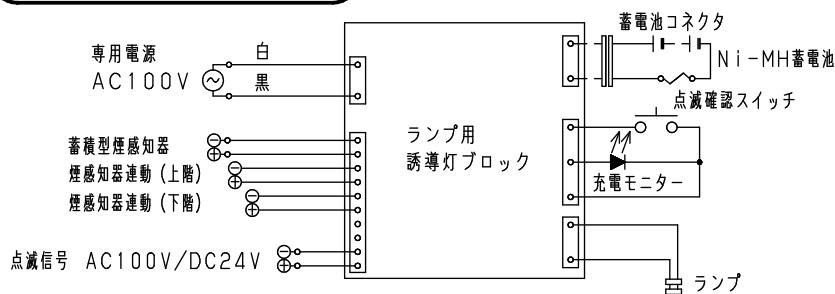


電源通電状態で点滅確認スイッチを押し、
ランプの点滅を確認する。

(点検中、充電モニター(緑)は消灯)

正常に動作しない場合は「故障かな?と思ったときは」を参照してください。

器具定格・接続図



定格

品番	FF90032
定格電圧	AC100V
入力電流	0.030A
入力電力	1.5W

保証について

- ・保証について この商品の保証期間は1年間です。蓄電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の保有期間 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

- ◆定期点検 3ヵ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヵ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
(点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

◆設置年月日 年 月 日 ◆取付場所 ◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな?と思ったときは

- ・表にしたがって調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタが外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	点滅確認スイッチが押された状態になっている。	点滅確認スイッチの引っ掛かりを直す。
	点滅信号が印加されていない。	点滅信号を印加する。
点滅動作がとまらない	誘導灯用信号装置の操作方法の間違い。	誘導灯用信号装置の取扱説明書を参照する。
	配線が間違っている、緩んでいる。	誘導灯用信号装置と器具の間、器具内の配線を正常化する。
	信号線の電圧降下が大きすぎる。	電圧降下10%までに抑える。
	制御する器具の台数が多すぎる。	システムの再構築。(カタログ等参照)
	点滅確認スイッチが押された状態になっている。	点滅確認スイッチの引っ掛かりを直す。
点滅動作しない 短時間しか動作しない ●一般型:点滅20分未満	蓄電池コネクタが外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	蓄電池の充電不足。(保管時の自然放電や施工時の放電など)	24時間以上充電する。
	蓄電池の寿命。	蓄電池を交換する。
	誘導灯用信号装置の操作方法の間違い。	誘導灯用信号装置の取扱説明書を参照する。
	配線が間違っている、緩んでいる。	誘導灯用信号装置と器具の間、器具内の配線を正常化する。
	蓄積型煙感知器により停止状態になっている。	蓄積型煙感知器の接点が開放状態になるようにする。
定格時間の点滅動作の後すぐに停止する ●一般型:20分以上	蓄電池の早期劣化を防止するため、特定電圧まで下がると消灯します。正常な動作です。	



Ni-MH

この器具は、“ニッケル水素電池”を使用しております。ご使用済みの“ニッケル水素電池”は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちいただくか、または“一般社団法人JBR”に依頼してリサイクルしてください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>
0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土/9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460 (FAX) Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)